

広東語の三文字重畳型語について

林 麗嘉

(日本課程日本語専攻)

キーワード：広東語、ABB 型形容詞、疊語

0. はじめに

広東語には普通話(標準中国語とされる北京官話のことを指す)と異なる言い方をする ABB 型形容詞が数多く存在しており、普通話には数少ない BBA 型形容詞も多く存在している。そのため、ABB 型・BBA 型形容詞における広東語と普通話の比較を取り上げた論文は少なくない。しかし、広東語の ABB 型・BBA 型形容詞をまとめ、整理した研究は管見の限りでは少ない。そこで卒業論文では、広東語のこういった三文字重畳型語を体系的に整理し、その特徴を見出すことを目的とする。なお、本稿では紙幅の都合上、広東語三文字重畳型語の特徴の一つである、同じ要素から構成された語のペアについての考察のみ取り上げる。

本稿での広東語のローマ字表記は千島式¹を用い、先行研究の語でローマ字表記のないものにもすべてつける。先行研究でローマ字表記がついている場合も千島式にすべて統一する。また、例文番号は筆者による。

1. 先行研究

広東語三文字重畳型語について述べている論文を以下にまとめる。文字表記は原文通りである。なお、凌志偉 (1988)以外の先行研究の原文は中国語で、日本語訳は筆者による。

1.1. 広東語三文字重畳語についての論述

李新魁等 (1995)は重畳型形容詞を形容詞の「生動形」と名付け、以下のように述べている。

中国語諸方言の形容詞は一般的に「生動化」した形を持っている。疊語や接辞を加えることによって、形容詞に色をつけて、描写力を強めることができる。

(李新魁等 1995: 443)

また、李新魁等 (1995)は形容詞の前に、意味がはっきりしていない襯字の重ね型をつけて作る三文字重畳型形容詞を以下のように説明している。なお、原文では漢字で表せない字を“□”で示している。

¹ 千島英一編 (2005)『東方広東語辞典』に基づく。

単音節形容詞の前に襯字の重畳部分をつけて「生動形」にしたものである。語根の形容詞と襯字の組み合わせは固定されている。この「生動形」は基本式より強めた形であり、一般的に知られている俗語的な意味を持つ。例えば:

(1) 脆 > □□脆(ngok1 ngok1 chōü3) サクサクしている; カリッとしている

(2) □(ling3) > 閃閃□(sim2 sim2 ling3) キラキラする

なお、意味をまだ失っていない襯字もある。例えば(2)“閃閃□(sim2 sim2 ling3)”の“閃”は「輝く」という意味を持っている。

また、単音節形容詞の後ろに襯字の重畳部分をつけて「生動形」にしたものもある。語根の形容詞と襯字の組み合わせは固定されている。重ね型はある一定の意味を持っており、イメージや感情を示している。

(3) 脛□□(nam4 bet6 bet6) ぐにやぐにやしているさま

(4) 臭崩崩(chau3 bang1 bang1) いやな臭いがぷんぷん匂うさま

(李新魁等 1995: 446-448)

1.2. 同じ構成要素を持つ語のペアについての論述

凌志偉 (1988)および植符蘭 (1994)は同じ要素から構成された語のペアの存在を指摘している。その論述を以下にまとめる。

1.2.1. 凌志偉 (1988)

凌志偉 (1988)は、広東語と普通話の相違点を述べた論文の中で、三文字重畳型語を“一字形容詞のバリエーション”とみなし、その特徴を説明している。以下は同じ要素から構成された語のペアについての論述のみ挙げる。なお、原文は日本語で書かれており、凌志偉 (1988)は重畳部分のことを“重ね方” (原文のまま)と称している。

重ね方を一字形容詞の前につけてもいいし、後につけてもかまわないものがあり、意味は全く同じだが、こういう形容詞はそう多くはない。

(5) 立立吟(laap3 laap3 ling3) 吟立立(ling3 laap3 laap3)
ピカピカと光っている。

(6) トト脹(buk1 buk1 zhōng3) 脹トト(zhōng3 buk1 buk1)
はちきれんばかりに膨れている。

(凌志偉 1988: 10-11)

1.2.2. 植符蘭 (1994)

広東語の接辞について述べた論文の中で、三文字重畳型語の重畳部分を接辞とし、以下のように説明している。

形容詞の接尾辞は固定されているため、随意に変えることができない。一字形容詞に重ね型の接尾辞をつけることによって、強めた意味を表すことができる。(中略)一字形容詞につける重ね型の接尾辞は接頭辞として使うこともある。その場合でも意味は変わらないが、意味を強調する語もある。例えば:

(7) 慌失失(fong1 sat1 sat1) 失失慌(sat1 sat1 fong1)
慌てふためくさま

(8) 碎濕濕(söü3 sap1 sap1) 濕濕碎(sap1 sap1 söü3)
こまごまとした(“濕濕碎”は他に「取るに足らない」、「数少ない」という意味もある)

(9) 浸浸涼(zham3 zham3 löng4) 涼浸浸(löng4 zham3 zham3)
ひんやりと涼しい

一字動詞に重ね型の接尾辞をつけると三文字重畳型動詞になる。形容詞と同じように、語根の意味を強めた形である。例えば:

(10) 跳紮紮(tiu3 zhaat3 zhaat3) 紮紮跳(zhaat3 zhaat3 tiu3)
はしゃぐさま

(11) 震掙掙(zhan3 tan4 tan4) 掙掙震(tan4 tan2 zhan3)
ぶるぶる震えるさま

(植符蘭 1994: 160-161)

2. 先行研究のまとめと問題提起

凌志偉 (1988)と植符蘭 (1994)は同じ要素から構成された ABB 型・BBA 型語のペアの存在を指摘し、ペアの語は同じ意味を持っているとしているが、それについて詳しくは述べていない。本稿では、この点について検証することを目的とする。

3. 研究方法

まず、三文字重畳型語の用例を収集し、整理する。その際、千島英一編 (2005)『東方広東語辞典』、饒秉才・歐陽覺亞・周無忌編 (1982)『廣州話方言詞典』、中嶋幹起編(1994)『現代広東語辞典』の3冊の広東語辞書を用いる。次に筆者および広州市出身のインフォーマント1名の内省により、ABB 型・BBA 型語の用例を収集する。インフォーマントは

広東省広州市生まれ、女性、2008 年現在 20 代、両親はともに広東省出身である。筆者は香港生まれ、女性、2008 年現在 20 代、両親とも広東省出身である。

収集した用例の中から、同じ要素から構成された ABB 型・BBA 型語のペアを抽出し、ペアの語が同じ意味かどうかについては、例文を作り、広東語母語話者 20 名からアンケート調査を行う。

4. 結果と考察

4.1. 結果

ABB 型語 220 例、AAB 型・BBA 型語 56 例を収集し、発音のアルファベット順にまとめた(以下ではこれを「三文字重畳型語リスト」とする)。この三文字重畳型語リストには以下の 3 種類のペアがあることがわかった:

① ABB 型・BBA 型のペア:

- (a) “碎濕濕(söü3 sap1 sap1)”・“濕濕碎(sap1 sap1 söü3)”
- (b) “呤立立(ling3 laap3 laap3)”・“立立呤(laap3 laap3 ling3)”
- (c) “震騰騰(zhan3 tan4 tan4)”・“騰騰震(tan4 tan2 zhan3)”
- (d) “脆トト(chöü3 bok1 bok1)”・“トト脆(bok1 bok1 chöü3)”
- (e) “慌失失(fong1 sat1 sat1)”・“失失慌(sat1 sat1 fong1)”

② ABB 型・AAB 型のペア:

- (a) “靜雞雞(zhing6 gai1 gai1)”・“靜靜雞(zhing6 zhing2 gai1)”
- (b) “閃呤呤(sim2 ling3 ling3)”・“閃閃呤(sim2 sim2 ling3)”

③ ABB 型・BBA 型・AAB 型のペア:

- (a) “跳紮紮(tiu3 zhaat3 zhaat3)”・“紮紮跳(zhaat3 zhaat3 tiu3)”・“跳跳紮(tiu3 tiu3 zhaat3)”

同じ構成要素を持つ語のペアは同じ意味かどうかを検証するために、アンケート調査を行った。調査対象は広東語話者 20 名で、以上①(a)～(e)、②(a)～(b)および③(a)の合計 8 セットの二択問題²各 3～4 問を設け、それらについて「このペアは完全に同じ意味だと思いますか」という質問に「はい」または「いいえ」で答えてもらう。また、その理由も記述してもらう。設問は合計 33 問である。アンケート用紙と結果は別紙にまとめた。

なお、調査対象の内訳は次の通りである:

性別: 女性 14 名; 男性 6 名

年齢: 10 代 1 名、20 代 18 名、30 代 1 名

出身: 全員香港

² ③に関しては三択問題である。

4.2. 考察

紙幅の都合上、以下は①ABB 型・BBA 型のペア(a)と(b)、②ABB 型・AAB 型のペア(a)および③ABB 型・BBA 型・AAB 型のペア(a)についての考察のみ取り上げることとする。

4.2.1. ABB 型・BBA 型のペア

三文字重畳型語リスト中、ABB 型・BBA 型のペアは 5 例あったが、以下にその中の 2 例を挙げる。

(a) “碎濕濕(söü3 sap1 sap1)”・“濕濕碎(sap1 sap1 söü3)”

アンケートで「“碎濕濕”と“濕濕碎”は完全に同じ意味だと思いますか」という質問に‘いいえ’と答えたのは、回答者 20 名全員であった。つまり、“碎濕濕”と“濕濕碎”は違う意味を持っているということになり、「同じ構成要素からなる ABB 型語と BBA 型語の意味はまったく同じだ」という先行研究の見解と相反する結果が出た。

“碎濕濕”と“濕濕碎”の意味が違うと思う理由は、前者は「ばらばらなさま」、「まとめられていない」ということを指し、後者は「大したことない」、「手におえる」ということを指しているから、との回答が複数あった。つまり、“碎濕濕”と“濕濕碎”は、ニュアンスが違うのではなく、語の意味がそもそも違うということになる。

“碎濕濕”の構造は A-BB、“碎-濕濕”である。つまり、“濕濕”が重畳部分で、語幹の“碎”を強調する役割をしている。このため、“碎濕濕”という語は“碎”、「くだけている」、「粉々である」、という意味である。一方、“濕濕碎”の語構造は A-AB で、“濕-濕碎”である。語幹“濕碎”は「こまごました」という意味から「取るに足らない」、「些細な」、「大したことない」という意味が派生したと考えられる。つまり“濕濕碎”は“碎”の BBA 強調型ではなく、“濕碎”という二字語の強調型なのである。“碎濕濕”と“濕濕碎”をこれまでは ABB 型形容詞と BBA 型形容詞のペアとしてされてきたが、この二つの言葉の語幹が違っているため、ペアであるとは言えないと考えられる。

先行研究では、「同じ言葉からなる ABB 型語と BBA 型語の意味はまったく同じだ」という見解が示されていたが、それは語構造、BB-A か A-AB か、にも関わっているということがわかった。ABB 型語とペアになっているのは BB-A 構造の語のみで、A-AB 構造の語はペアになれないのである。

(b) “呤立立(ling3 laap3 laap3)”・“立立呤(laap3 laap3 ling3)”

アンケートで「“呤立立”と“立立呤”は完全に同じ意味だと思いますか」という質問に‘いいえ’と答えたのは回答者 20 名中 11 名と、約半数であった。“呤立立”と“立立呤”の意味が違うと思う理由については、「ピカピカする」という意味を表す文では両者使えるのだが、後者の“立立呤”しか使えない文もある、という回答が複数あった。

“立立呤”しか使えない文というのは、たとえばアンケートの質問項目にもなった以下の例文である。

(12) 考試唔及格，俾老豆省到_____。(試験の成績が悪くて、親父にひどく叱られた。)

広東語では、“省”は「磨く」という意味だが、俗語として「叱る」という意味も持っている。“省到立立吟”という文は、「ピカピカするほど磨く」の意味から派生して、「ひどく叱られる」という慣用句になっている。そのため、質問項目(12)に、“立立吟”と答えたのは回答者 20 名中 18 名³で、大多数であった。つまり、“吟立立”も“立立吟”も「ピカピカする」という意味を表すが、“立立吟”のほうが慣用句によく使われるということになる。

4.2.2. ABB 型・AAB 型のペア

三文字重畳型語リスト中、ABB 型・AAB 型のペアは 2 例、(a) “靜雞雞(zhing6 gail gail)”・“靜靜雞(zhing6 zhing2 gail)”、(b) “閃吟吟(sim2 ling3 ling3)”・“閃閃吟(sim2 sim2 ling3)”があった。以下は(a)を取り上げる。

(a) “靜雞雞(zhing6 gail gail)”・“靜靜雞(zhing6 zhing2 gail)”

アンケートで「“靜雞雞”と“靜靜雞”は完全に同じ意味だと思いますか」という質問に‘いいえ’と答えたのは回答者 20 名中 5 名だった。その理由については、“靜雞雞”は「静かに、音を立てず」の意味を持っているのに対し、“靜靜雞”の意味は「こそこそ何かをしている様子」である、という意見が複数あった。

以上述べたように、“靜雞雞”と“靜靜雞”の意味が違っていると指摘した回答者がいるのにもかかわらず、“靜雞雞”と“靜靜雞”両方が答えになるとした回答者は他の三文字重畳型語ペアと比べて多かった。それには“靜雞雞”と“靜靜雞”の意味が非常に近いからという理由が挙げられる。“靜雞雞”は「他の人に知られたくないから、音も立てず静かに何かをする」という意味を持っている。一方、“靜靜雞”は「他の人に知られたくないから、こっそり何かをする」という意味を持っている。つまり、“靜雞雞”と“靜靜雞”は共に「他の人に知られたくない」という前提がある。「他の人に知られたくない」場合、必然的に静かにするし、こっそりする。ニュアンスは異なるが、根本的なところは同じと言えるのではないだろうか。

以上をまとめると、“靜雞雞”と“靜靜雞”はニュアンスが違いますが、そのニュアンスの根本は非常に近いので、語の意味や使い方が混同されやすい、と考えられる。

4.2.3. ABB 型・BBA 型・AAB 型のペア

三文字重畳型語リスト中、ABB 型・BBA 型・AAB 型のペアは以下の 1 例があった。

(a) “跳紮紮(tiu3 zhaat3 zhaat3)”・“紮紮跳(zhaat3 zhaat3 tiu3)”・“跳跳紮(tiu3 tiu3 zhaat3)”

³ アンケートの回答は複数選択可とし、両方の選択肢が選ばれた場合、回答者数はそれぞれに加算し、延べ人数をカウントする。例えば(12)の場合、回答者 20 名のうち 15 名が“立立吟”のみを選んだが、“立立吟”とともに“吟立立”を選択した回答者は 3 名いたので、“立立吟”の回答者が合計 18 名になった。以下も同様。

アンケートで「“跳跳紫”、“紫紫跳”と“跳跳紫”は完全に同じ意味だと思いますか」という質問に‘いいえ’と答えたのは回答者 20 名中 17 名と、多数を占めていた。その理由については、「“跳跳紫”は聞いたことがあるが自分では使わない」、「“跳跳紫”はあまり耳にしない」という“跳跳紫”に注目した回答が複数あった。

“跳跳紫”、“紫紫跳”と“跳跳紫”に関する 3 つの質問の中で、“跳跳紫”と回答されたのは一回もなかった⁴。しかし、インターネット⁵で検索したところ、一般のホームページはもちろん、ネット新聞や政府機関のホームページにも“跳跳紫”という言葉が出てきた。アンケートで「“跳跳紫”はあまり耳にしない」という意見があったのは、“跳跳紫”は話し言葉より書き言葉のほうでよく使われているからだという理由が考えられる。

また、“紫紫跳”と“跳跳紫”については、「“紫紫跳”しか使えない文がある」、「“紫紫跳”は怒りを表すときなどに使う、ネガティブな意味を持っているが、“跳跳紫”はそういう意味を持っていない。」という意見があった。

(13) 個細路成日_____, 有時停.

あのガキ、いつもははしゃいでいてうるさい。大人しくしてくれないかな。

(14) 真係俾你激到我_____!

(跳び上がるほど)きみに腹を立てた。

(15) 咁大個人仲_____, 真係有佢修.

いい年して、全然落ち着きがなくて、もうどうしようもない。

以上の“跳跳紫”、“紫紫跳”と“跳跳紫”に関する 3 つの質問の中で(14)のみ回答者 20 名全員が“紫紫跳”という答えを選んだ。つまり、この文は“紫紫跳”以外は入らないと考えてよいだろう。

他の 2 つの質問項目(13)と(15)には、“跳跳紫”を答えとして選んだ回答者はそれぞれ 20 名中 12 名と、半数以上であった。“跳跳紫”は「活発」、「はしゃぐ」、「やんちゃである」という意味を持っているため、(13)と(15)に当てはまる、という意見があった。一方、この 2 項目に“紫紫跳”を選んだ回答者もそれぞれ 11 名と 8 名いた。この結果を見ると、“紫紫跳”は単に怒りを表すのに使うだけでなく、「活発」、「落ち着きがない」という意味をも表すことができると言えるだろう。つまり、“紫紫跳”と“跳跳紫”は両方「活発」、「はしゃぐ」、「落ち着きがない」という意味を持つが、“紫紫跳”のみが慣用句として「怒り」という別の意味を持つのである。

⁴ 他の選択肢とともに複数選択した回答は一回あったが、単独で選ばれたことはなかった。

⁵ 検索サイトは「Yahoo! 雅虎香港」を利用した。

5. おわりに

広東語の ABB 型・BBA 型語のペアは同じ意味とされてきたが、それを検証するため、アンケート調査を行った。その結果、ABB 型・BBA 型のペアのほとんどが違う意味を持っていることがわかった。ペアの片方——BBA 型語の場合が多い——が慣用語的、俗語的な意味を持っているため、もう片方の語とは違う使い方ができる、という先行研究と相反する結果を得た。

「単音節形容詞の前に襯字の重畳部分をつけた「生動形」形容詞は一般的に知られている俗語の意味を持っている」と李新魁等 (1995: 446) が指摘しているように、BBA 型語は ABB 型語にない使い方があるため、ペアの意味の差異が生じるのだと考えられる。

一方、ABB 型・AAB 型のペアははっきりした結果は得られなかった。また、ABB 型・BBA 型・AAB 型のペアは ABB 型の存在が明確でないため、本稿では BBA 型・AAB 型のペアの結果しか得られなかった。この 2 種類のペアはさらに用例を収集し、比較する必要があるだろう。

参考文献

- 李新魁・黄家教・施其生・麦耘・陈定方 (1995) 『广州方言研究』中国广东省：广东人民出版社
- 凌志偉 (1988) 「広東語と“普通話”の相違点——動詞と形容詞をめぐって——」法政大学教養部編『法政大学教養部紀要 外国語学・外国文学編』65: 1~13 法政大学教養部
- 植符蘭 (1994) 「廣州方言的語綴」『第一屆國際粵方言研討會論文集』1: 145~163 香港：現代教育研究社有限公司

用例出典

- 千島英一編 (2005) 『東方広東語辞典』東京：東方書店
- 中嶋幹起編 (1994) 『現代広東語辞典』東京：大學書林
- 饒秉才・歐陽覺亞・周無忌編 (1982) 『廣州話方言詞典』香港：商務印書館香港分館

ウェブ資料

Yahoo! 雅虎香港 <http://hk.yahoo.com> (2007/11/21)